すまいーが大切にしている価値観

” 何世代も受け継いでいける家 ”

住む人の夢を徹底的にお伺いし、共に考え、
明るく楽しく暮らす「心のふるさと」=「すまい」のご提案をさせて頂きます。
家族が本当に過ごしやすい空間を創ることで、家族が家を愛し、大切に思うことが出来ます。
その思いが家をいつまでも受け継いでいくのです。
家は完成してからが本当のスタートです。
お客様とのご縁を大切に、いつまでも家を守り続ける事。
それも私たちの使命と喜びです。

私たちは「何世代も受け継いでいける家」を目指します。

これからの住宅は性能を数値で確認し、エネルギーの使用を極限まで減らしながらも、
快適性、デザイン性、オリジナリティーは決して譲らない家づくりを、
長野の気候風土を組み入れ、手の届くコストで建てることが大切です。
すまいーではご要望を伺った上で、Natureconsent ひだまり、あった革命とともに
断熱、気密性能を数値で見える化し、イニシャルコストやリフォーム後のランニングコスト、
補助金などの優遇措置を考慮した上で、最適なプランをご提案いたします。

受け継がれる
団らん

- ○ みんな大好きな場所
- ○ 家族のコミュニケーションがいつも取れる家
- ○ 地域とのつながりが持てる家
- ○ 愛の集まる家
- ○ 家族の息吹が生き続ける家
- ○ 家族、親戚、友人が集う家

受け継がれる
強さ

- ○ 時を重ねてもなお、丈夫で長持ちする家
- ○ 隠さない、骨太な地域材の家
- ○ 地元で生き続ける家
- ○ 本質的に良い材料を使い力強い家
- ○ 気候風土に恵まれた家

受け継がれる
心

- ○ 喜び、悲しみ、不安、わがまま、怒り嬉しさ・・・豊かな心を育ててくれる家
- ○ 暖かさ、温もりが宿り、心和む家
- ○ 親～子～孫へ共に想いを共有できる家
- ○ 感謝と思い出を語れる家
- ○ 心つながる家

受け継がれる
安心

- ○ 健康な子が育つ家
- ○ 地域の資源を大切にした家
- ○ 地域の人々に守られる家

受け継がれる
個性

- ○ 時代に対応できるデザイン
- ○ 流行に左右されない家
- ○ 明日への活力がある家

受け継がれる
味わい

- ○ 住むほどに味わい深まる家
- ○ 色合い、キズ、香りも伝えて
- ○ 熟練した技術を生かし続ける家

すまいーの「何世代も受け継いでいける家」

ZEH 標準仕様

太陽光発電システム 5ｋｗ以上
自然エネルギー設備の導入の提案・検討。
エネルギー計算ソフトを使って
ご説明します。

屋根
50 年の耐久性を持つ
陶器瓦を使用。

外壁
・モルタル壁
・樹脂サイディング（費用効果が抜群）
・スイスしっくい　等

マド
樹脂サッシ高性能 LOW-E ガラス＋
ハニカムサーモスクリーン 35ｍｍ

内　装：自然素材…板、月桃紙、スイスしっくい
建　具：オリジナル手作り建具等
水回り：TOTO 製品等
給　湯：高効率給湯機
冷暖房：高効率ヒートポンプ式
照　明：LED 照明
換気設備：高性能熱交換換気システム（90%熱交換）
エネルギー計測：HEMS システム

屋根の断熱は　高性能グラスウール
16k　100mm+100mm（200ｍｍ）

壁の断熱は　高性能グラスウール
16k　100mm+ 付加断熱グラスウールボード 45ｍｍ

※その土地の気候風土に合わせ、お客様とのお打合せの中で
商品を選択していきます。仕様によって金額は変わります。

基礎の断熱は　ポリスチレンフォーム 100ｍｍ

【省エネ手法】パッシブソーラー設計　　すまいーは ZEH「ゼロエネルギーハウス」

ZEHの条件

（『使うエネルギー』 + 『エネルギーを減らす工夫』）－『創るエネルギー』≦ 0

『使うエネルギー』
- 冷暖房
- 給湯
- 家電
- 調理機器
- 照明
- 換気

『エネルギーを減らす工夫』
- 高断熱・高気密化
- 日射取得の最大限利用
- 熱を蓄える
- 自然風の利用
- 省エネ家電・LED 照明
- 効率の良い設備を導入

『創るエネルギー』
- 太陽光発電システム
- など

年間消費エネルギーゼロ

・省エネルギー基準（平成 25 年度判断基準）に対して、一次エネルギー消費量が 20%以上削減のこと。
・消費したエネルギー量と同等か、それ以上を自宅で発電して、エネルギー収支が実質ゼロ以下であること。

≪㈱すまいーはZEHビルダーとして認証されました≫

経済産業省「ZEH ロードマップ」に基づき、私共が受注・設計する新築住宅において、ZEH が占める割合を 2025 年までに 50%以上となることを目標とし、地域の自然・環境に調和する家づくりを目指してまいります。

ZEH 実績 普及目標

年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
普及目標	30%	40%	50%	50%	50%
実績	34%	0%	0%	0%	0%